

第3回白河市複合施設基本設計検討委員会 議事要約

- 1 日 時 令和3年9月6日(月) 14:30~16:30
- 2 場 所 白河市役所本庁舎 5階 正庁
- 3 出席者
 - 委員長：市岡 綾子 (日本大学工学部 専任講師)
 - 副委員長：藤田 龍文 (株式会社楽市白河 取締役副社長)
 - 委員：青砥 和希 (一般社団法人未来の準備室 理事長)
 - 浅川 なおみ (白河市公民館運営審議会 副会長)
 - 大住 由香里 (公募)
 - 白岩 麗奈 (公募)
 - 柴崎 恭秀 (会津大学短期大学部 教授)
 - 徳田 芳江 (白河市地域活性化協議会等連絡調整会議 委員)
 - 平久江 勝志 (白河市消防団 白河方面隊長)
 - 牧田 恵 (NPO 法人子育て環境を考える虹の会 副理事
白河市ファミリーサポートセンター センター長兼アドバイザー)
 - 村越 美穂子 (白河市健康づくり推進協議会 会長)
 - 事務局：鈴木 市長公室長、深町 参事兼企画政策課長、仁平 地域拠点整備室長、
八巻 主任主査兼係長、穀田 副主査
原 建築住宅課長、松川 課長補佐兼係長、山本 主査
 - その他：(株)石本建築事務所 (富宇加、三井、荒井)
- 4 次 第
 1. 開 会
 2. 議 事
 - (1) 建物の機能・配置イメージ(たたき台)について
 - (2) 官民連携事業の方向性(たたき台)について
 - (3) ワークショップについて
 - (4) その他
 3. 閉 会

<議事概要>

【委員長】

(1) 建物の機能・配置イメージ（たたき台）について、事務局から説明をお願いします。

(1) 建物の機能・配置イメージ（たたき台）について

(スクリーン映写により説明)

【事務局】

建物の機能・配置イメージのたたき台は、諸室に備える設備や細かな仕様などを検討するためのものではなく、各フロアへの機能の配置や規模などを検討するためのものです。今回ご提示するのは、あくまで初期段階のたたき台ですので、機能の配置や規模イメージの固定化を避ける目的で、資料の配付は行わずスクリーンへの映写のみといたします。

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

生きがいがづくり機能としてスタジオを想定しているようですが必要なのでしょうか。コミネスにもドラムセットが置いてある「練習室」というものがありますが、月2回から3回程度の利用だと聞いています。利用される見込みがあつての配置ということでしょうか。

【事務局】

今回のものについてはたたき台として担当課からの意見をそのまま反映して、現段階での素案として仮に示したところです。必要性については、今後確認しながら検討を進めていきたいと思えます。

【委員】

官民連携機能について、参入する事業者が既に決定しているということでしょうか。

【事務局】

次の議題で説明いたしますが、参入する事業者は決定していません。

【委員】

健康増進機能について、検診バスを利用する年間日数ほどのくらいなのでしょうか。

【事務局】

検診バス4台が入るのが年間30日程度、そのほか1～2台が入るのが、年間30日程度、合わせて60日程度です。

【委員】

健康増進機能については中田の保健センターだと思いますが、今後保健センターは使われなくなってしまうのでしょうか。

【事務局】

現在のところ保健センターについては、複合施設に移管するという考えでおります。既存の建物につきましては、公共施設等総合管理計画に基づき、利活用等の検討を進めていきたいと考えています。

【委員】

検診は、年間60日程度となると平均しておおよそ週1回程度になるとと思いますが、使われるのが毎日ではないとなると、配置を改めて検討する必要があるのではないのでしょうか。

【事務局】

先ほどは検診バスのみの説明でしたが、実際には検診だけではなく、乳幼児健診、介護予防の教室などについても健康増進の機能で実施する予定です。

【委員】

担当部署の要望している面積は、確保できているのでしょうか。

【株式会社石本建築事務所】

基本的には必要な諸室については確保できていますが、その面積については足りていない部分もあります。ただし、施設全体の延床面積については、すべてのプランにおいて、基本計画で想定しているものよりも500から1,000㎡以上オーバーしている状況です。

【委員】

防災対策機能についてですが、無駄のないようにするために、共用で構わないので、有事の際に、警察や自衛隊などの関係機関が待機できる部屋を執務室の近くに確保することを検討していただきたいと思います。また、本庁側との連携が容易となる配置を検討いただきたいと思います。

【事務局】

例えば、平時は生きがづくり機能の多目的研修室としていますが、災害時にはリエゾンなどが待機する災害対策用の部屋として活用するというように、各諸室の相互利用を検討しています。配置につきましても引き続き検討いたします。

【委員】

先ほど保健センターは複合施設に移管するという考えだと伺いましたが、保健センター職員の執務スペースはどこになるのでしょうか。本庁になるのでしょうか。

【事務局】

健康増進機能に含めて複合施設の中に配置することを想定しております。

【委員】

諸室の共用だけでなく、機能が相互に連携するようなことも検討すべきだと考えます。「つながる」というコンセプトがある以上は、パズルのように各機能を当てはめたような施設ではなく、異なる機能が複合化することで起こる化学反応のようなものがあると良いのではないのでしょうか。

また、施設の主要となる部分に、官民連携事業のような人が集まって賑わいを創出するようなものを配置してはどうでしょうか。仮にそれが2階になるのであれば、2階へアクセスしやすい動線を検討していただきたいと思います。

【事務局】

どの部分が施設の顔になるのかということについては、まさに現在検討しているところで、例えば2階が中心となる場合には2階へアプローチしやすい動線についても検討しているところです。

検討委員会での意見をはじめ、ワークショップ等で出された意見を参考に、機能配置を決定していきたいと考えております。

【委員】

年間を通してみると、検診スペースなどの健康増進機能の諸室が利用されない日があると思いますが、空いている日や空いている時間は、別な用途での活用方法を考えてはどうでしょうか。例えば、検診スペースは夕方には利用されなくなると思いますので、学習スペースとして利用できるようにするなど無駄がないようにすることも検討していただきたいと思います。

【委員】

8月25日に須賀川市市民交流センター（テッテ）を視察して、吹き抜けがあったり、通路が入り組んでいたりと面白さを感じました。テラスがあったりすると外から見て面白そうだと感じますし、特に用事のない市民でも利用したくなるような魅力的な空間とすることも必要ではないでしょうか。

また、マイタウンの子育て広場は小さな子ども向けとなっているので、小学生以上が利用できる室内遊技場があればいいと思います。正面に配置すれば施設の目玉になるのではないのでしょうか。

【委員長】

今は担当課の要望を入れ込んだ初期段階のものですが、今回委員の皆さんから意見が出て、次回ではより進んだ段階のものが提示されると思いますので、引き続きご検討をよろしくお願いします。

【委員】

まちづくりの観点から、市民目線に立って、官民連携事業のような賑わいの元となるものを施設の中心となる部分に配置することが必要だと思います。行政機関の要望の前に、

まず、市民がどのように活用していくかを考え、将来を見据えた配置を考えないと、どうにもならない使い勝手の悪い施設が出来上がってしまいます。全体的な階構成を改めて検討すべきだと思います。

【委員長】

今回は設計案ではなく面積配分の提示ではありましたが、委員の皆様のご意見から、市民レベルで求めている部分を確認できたのではないかと思います。

では、続きまして（２）官民連携事業の方向性（たたき台）について、事務局から説明をお願いいたします。

（２）官民連携事業の方向性（たたき台）について

（資料１及び参考資料により事務局説明）

【委員長】

ありがとうございました。今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員】

「女性に寄り添うライフ・ワークサポート事業」のアンケートが７月に幼稚園から配付されましたが、その結果はどのようになったのでしょうか。

【事務局】

締切りを８月末としていますので集計はこれからとなります。結果が出ましたらお知らせいたします。

【委員】

一つの事業者が全てを一括して運営していくということなのでしょうか。それとも資料として取りまとめるために、便宜的にひとまとまりとして表現しているだけなのでしょうか。

【事務局】

サウンディング調査に参加した事業者からは一括して運営できるという提案もありましたが、決定しているわけではありません。最終的には、事業者を募集する条件も含めて、今後検討を進めていきたいと考えております。

【委員】

短時間だけ働きたいという場合など一時的に子どもを預かっていただけるような場が必要だと思います。

【事務局】

実際に預かるとなると保育士の資格が必要となる可能性もあると思いますので、そのような専門のスタッフを配置するとか、この複合施設に集う母親達で相互に見守るという方法も考えられます。今後検討していきたいと思います。

【委員】

若者サポートステーションについてですが、こういう機能をカフェなどの交流機能と同居させることは、やり手というか剛腕な事業者でないと難しいのではないかと思います。ただ、こういった部分への支援は政策的に抜け落ちてしまいがちな分野なので、ここにチャレンジするという考え方は素晴らしいと思います。引き続き事業者の選定も含めて検討をお願いしたいと思います。

【委員長】

では、続きまして(3)ワークショップについて、事務局から説明をお願いいたします。

(3) ワークショップについて

(資料2により事務局説明)

【委員長】

ありがとうございました。今の説明に関しまして、ご意見やご質問をお願いします。

【委員長】

ご質問がなければ、次に移ります。

では、続きまして(4)その他について、事務局から説明をお願いいたします。

(4) その他について

【事務局】

第2回白河市複合施設基本設計検討委員会議事要約についてご確認の上、もし、誤り等の修正がございましたら、9月17日(金)までに事務局までご連絡をお願いします。

また、次回の検討委員会の会議につきましては、11月中旬から下旬の開催を予定しております。決定しましたら改めてご連絡いたします。

【委員長】

本日はこれをもって、第3回検討委員会は終了ということにさせていただきます。それでは、私の役目はここで終了し、進行を事務局に戻します。皆様ありがとうございました。

【事務局】

それでは以上をもちまして、閉会とさせていただきます。委員の皆様には、長時間にわたり、ありがとうございました。